

第10回北信越選手権(ホープス・カブ・バンビの部)にご参加の皆様へ

【 ご連絡とお願い事項 】

富山県卓球協会

1. 団体戦の試合方法と審判ご協力の御願い

- ・予選リーグ及び決勝トーナメント1回戦は1試合2台進行で、相互審判により行います。
 - ・決勝トーナメント2回戦以降は1試合3台進行(1番S・2番S・3番Sを同時に対戦して3-0であれば終了し、勝敗が決しない場合についてのみ4番S・5番Sを同時対戦する方式)で行います。
-
- 従って、決勝トーナメントでは敗者チームには基本的に審判をお願いすることになりますが、不要なケースも出るため本部席の指示に従って下さい。

2. ベンチコーチの人数について

ベンチコーチ人数は、個人戦は1名のみ、団体戦は2台進行の場合は2名まで、3台進行の場合は3名までとします。

3. 団体戦の3・4位トーナメントについて

今回はコート数に余裕が無いため実施しません。

4. 個人戦の3・4位選手による練習試合について

今回はコート数に余裕が無いため実施しません。

5. タイムテーブルについて

団体戦・個人戦共に、試合が予定より早めに終了した場合でも速やかに次の試合の準備に入ります。タイムテーブルが早まる場合がありますので、自分の対戦の前の試合進行には十分注意した上で放送をよく聞いて下さい。

6. その他

①試合の迅速化について

移動やオーダー交換・試合の迅速化にご協力願います。団体戦は予選リーグから全て3点先取制です。特に団体戦のアドバイスについては、予選リーグ(3ゲームマッチ)は毎ゲーム終了後ですが、決勝トーナメント(5ゲームマッチ)では1ゲーム及び3ゲーム終了後のみです。どちらもタイムアウトはありません。(個人戦アドバイスは毎ゲーム終了後、タイムアウトは準決勝からとなっています。)

②団体戦のシードチームについて

昨年の入賞実績については所属県の枠(権利)として取扱い、原則として所属県の申込順位(所属県が判断した実力順)に基づいてシードチームを配置します。従って、昨年の入賞チームであってもシードされない場合があります。小学生の団体戦では選手の卒業等によりチーム力が大きく変動するケースが多いため、各県の申合せ事項としてシード権を所属県に割り振っているものです。

※建設的なご意見がございましたら各県の卓球連盟(協会)へお伝え頂きますようお願い致します。

以 上